

届けます!!

みなさんの声、

三芳の声を

南房総市に

日本共産党

溝

口

ひとし

みづべちち仁



プロフィール

1956年3月15日生まれ(50歳)

家族:父・母・妻・2男

静岡大学農学部園芸学科卒

1981年に三芳村議に初当選

趣味。登山・野球

血液型:O型 星座:うお座

三芳民報 4月号外

南房総市山名413

日本共産党三芳支部(36)3702

日本共産党の政策をお知らせします。

ご意見をお寄せください。

# 歩んだ7期25年

## 二五歳で村議会議員に

Q. 二五歳で日本共産党から初めて村議に立候補、随分勇気がありましたね。周囲からの反対は？

A. そうですね。園芸学科を卒業して三芳に帰って、野菜作りを二年して、村の農業も暮らしもこの



ままでは明るい将来は展望できない、何とかしなければと。若かったから周りの反対も何のそのでした。少数激戦でしたが、定数十六の九位で当選し、周りもみんな喜んでくれました。

## おとしよりに福祉センターでの入浴・無料送迎を実現

Q. 先日福祉センターのお風呂に入ってきましたが、あれは溝口さんの提案で実現したのだそうですね。

A. 最初の選挙公約の一つでしたから。当時増間温泉というのがあって、そこへ骨休めの入浴を福祉行政として支援して欲しいと提案しました。それが何年もしないうちに「三芳村公民館にお風呂」という形で実現し、マイクロバスでの送迎も行うようになりました。

風呂は武道館横の井戸から水を引いた鉱泉で、畳の部屋で囲碁・将棋もでき、好評でした。これは、当時近隣の町にはない施設でした。



# 三芳村の歴史とともに

## みなさんと力を合わせた ゴルフ場反対のたたかい

Q. 村でもバブル経済期にゴルフ場開発の話があったそうですね。

A. 総武都市開発（株）が御庄の百二十畝の土地に造ろうとして、用地の三分の二ほど取得していました。県の開発許可には地元行政の意見を付ける必要があり、昭和六四年春に反対、賛成の両方の請願が議会を通り、その後の村長選挙の争点にもなりました。私も、村の自然を守りたい一心で、議会の一般質問で毎回ゴルフ場の問題を取り上げ、三芳村民報でお知らせしました。厳冬の日々、みなさんと力を合わせての署名集めなど、昨日の事のように思い出します。

## 村の宝「子育て支援策」

Q. 子育て支援に長年力を尽くしてきたそうですが、どんな活動をしてきたのですか。

A. 村議になったのは村に保育所が出来たばかりのころでした。国民健康保険の出産一時金、保育料金の引き下げ、乳幼児医療費助成の対象年齢の引き上げ、さらに小学校を対象にした補助教員の採用による少人数学級などを議会、ごとに取り上げました。

「子育てなら三芳村」を合言葉に、みなさんと共に、支援の施策を一步一步前進させてきました。

合併で、こうした村の宝がズタズタです。新市には、「三芳の子育て支援をもとに戻せ」とがんばります。



# 「三芳村民報」ついに299号

二五年間、三芳村民報で

## 村議会の様子を報告

Q. 三芳村民報は二九九号に達しましたが、どんな思いで発行を続けているのですか。

A. 議会の様子をみなさんに分かりやすく伝えようと思って、村議一期目から発行し、その後もずっと続けています。他の議員がほとんど文書での議会報告をしていないこともあり、村の広報よりも分かりやすいとの声も頂戴しています。

## 議会のたびに必ず発言

### みなさんの声を村政に

Q. 年四回開かれる定例議会で行政一般質問をする議員は、一、二名しかいないようですね。

A. 私だけしか質問をしないことも度々ありました。私は、みなさんの声を議会に届けたいと、七期二五年間必ず毎回行い、この三月定例議会でも、ちょうど一〇〇回になりました。

## アンケートに寄せられた

### 議員への要望

Q. 昨年も住民の方々にアンケートをしましたね。

A. 村議に対する要望を色々お聞かせいただきました。多かったご意見は、①税金のムダ使いをチェックして、②住民の意見を行政に反映させて、③議会の様子を知らせて、などでした。みなさんの要望に応えられるよう今後もがんばります。

# 一般質問も通算100回

みなさんと力を合わせて

実現しました

Q. これまでの議員活動で実現した主な実績を聞かせてください。

A. お話しした事以外に、次のようなものがあります。

**防犯灯** 夜道の暗い三芳村では防犯灯は大変大切ですが、はじめは設置だけが公費で、電気代と球切れは地元の区負担でした。電気料の補助を議会で見望し、三割↓六割↓全額と補助率を上げさせました。それで、通学路の街灯の数が増えました。十年ほど前に商工会と村で設置した「菜の花照明灯」の電気料も今では全額補助になっています。

**小規模土地改良事業補助** 国・県の補助対象にならない小規模なもの（水路改修・災害復旧・水利施設など）の補助率を三割↓五割へと引き上げさせてきました。使い勝手がよいと好評です。

その他の主な実績

- 県道役場前交差点の交通安全対策
- 乳幼児医療費助成制度の窓口無料方式への変更
- 幼稚園入園時に絵本を贈るブックスタートの実施
- 補助教員の採用で少人数学級の実施
- 高齢者インフルエンザ予防注射への補助
- 村奨学基金の設立
- 学童保育の実施

# みぞぐち仁のお約束

## 有機無農薬野菜作り二七年

Q. 三芳村で有機農業を始めたのは全国的にも早かったそうですね。

A. 昭和48年からです。園芸学科の学生だった時から有機農業に関心がありました。親がやっていましたので、跡取り息子として無農薬グループに入れてもらい、早いもので二七年になります。



Q. 市政への公約は何ですか。

A. 「みなさんの声、三芳の声を新市に」を合言葉に、がんばっていきます。

## 新市はくらし守る防波堤に

今、小泉「構造改革」のもとで、増税、医療改悪、福祉後退と悪政が続き、所得格差が拡大し、暮らしが大変です。昨年行った住民アンケートでも悲鳴が上がっています。

そういう時だからこそ、新市は市民の暮らしを守る防波堤になるべきです。大いに奮闘します。

## 住民サービスの

## 大幅後退は許せません。

合併後は、七町村の施策の調整ということで、子育て支援の大幅後退をはじめ、住民サービスの後退が懸念されています。切り捨てられることが決まっている住民サービスの復活をもとめてがんばります。

# 新市にもみなさんの声必ず

## 三芳の良さを守り発展させます

市議選は、初回だけ旧町村ごとに定数を決めて行われ、三芳区から選ばれる議員は三人です。住民の意見を市政に反映させるため、住民参加をどう実現するか、その手立てが大切になってきます。

新市では、十五名以内の「地域審議会」を設けて、地域の問題を取り上げることになっています。何らかの形ですべての区長さんが参加できるようにするなど、住民参加の実現に努めてまいります。

## 新市への政策・提案

Q. 新市へはどんな政策を提案していきますか。

A. 次のような政策を重点にがんばります。

- 三芳の給食センターを建設し、地元農産物を使用をすすめます。
- 山名川の改修を促進します。
- 山名・増間など水道未給水地域解消に努めます。
- イノシンなど鳥獣駆除を進めます。
- 戦争史跡保存と活用を推進します。
- 国保税・介護保険料など負担軽減に取り組みます。
- 乳幼児医療費助成制度などの子育て支援施策を充実させます。
- 補助教員の採用で少人数学級を推進します。

# 三芳の代表3人のうちに みぞぐち仁を必ず加えてください！

新市でもしっかり発言、  
きちつと報告します

合併で、もつとも人口の少ない三芳村が埋没しないか、身近な住民サービスが大幅な後退しないか、心配する声が多く聞かれます。私は、七期二五年の経験を活かし、新市でも「みなさんの声、三芳の声」をまっすぐ届け続けてまいります。  
みなさんのより一層のご支援をお願い申し上げます。

前三芳村議 みぞぐち 仁

## みぞぐち君に 期待しています

みぞぐち君はよくがんばっている。南房総市政の様子も、三芳民報でこれからも知らせてもらいたい。みぞぐち君に期待しています。

(前三芳村議)